（別紙3）

# 公表　事業所における自己評価総括表

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| ○事業所名 | 夙川Lucy教室 | | | |
| ○保護者評価実施期間 | 2024年12月4日 | ～ | 2024年12月27日 | |
| ○保護者評価有効回答数 | （対象者数） | 25 | （回答者数） | 23 |
| ○従業者評価実施期間 | 2024年12月4日 | ～ | 2022年12月27日 | |
| ○従業者評価有効回答数 | （対象者数） | 13 | （回答者数） | 12 |
| ○事業者向け自己評価表作成日 | 2025年　1月24日 | | | |

○ 分析結果

| | 事業所の強み（※）だと思われること<br>※より強化・充実を図ることが期待されること | 工夫していることや意識的に行っている取組等 | さらに充実を図るための取組等 |
|---|---|---|---|
| 1 | ＊大学の児童発達を専攻とされている大学教論が顧問および　直接支援員としてSVとして2常時名サポート体勢として勤務されている。 | ＊未就園、未就学児に特化しやすく、各年連層での時間帯受入が可能。 | ＊自閉症児のための脳科学（脳解剖（を取得したインストラクターによりKidsヨガ、ウエルビー体操を取り入れ、体幹、呼吸法など発語の促進にも役立てている。 |
| 2 | ＊国家資格としての有資格者公認心理師・臨床心理士、言語聴覚士、精神保健福祉士、社会福祉士、看護師、強度行動障害研修受講等が在籍している。 | ＊未就園、未就学児に特化しやすく、各年連層での時間帯の受入が可能で個別、グループ等での支援を実現している。 | *保護者会、子育て相談等のセミナーを定期的に開催する。 |
| 3 | ＊専門性の高い有資格者との多職種連携により偏った支援になりにくい。 バランスの良い支援が実現出来る。 | ＊就学準備のためのフォローとして、英語圏での長期間17年間生活されていた日本語教師による幼児英語の取得。 | |

| | 事業所の弱み（※）だと思われること<br>※事業所の課題や改善が必要だと思われること | 事業所として考えている課題の要因等 | 改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等 |
|---|---|---|---|
| 1 | ＊既に未就学児で定員が超えているので、就学後のフォローについて→ | ＊就学後のフォローを可能とする為に、放課後デイ機能を有する事業所の拡大を将来起草する | ＊多忙の為、統一した研修開催の受講方法など工夫が必要。→　現在、神戸教育大学のこども学科准教授によるイブニングセミナー開催の予定。 |
| 2 | ＊年連層や発達具合の違う小集団の場合、より高度な対応が可能か？ | ＊柔軟な対応が可能な職員の育成 | ＊柔軟な対応が可能な職員の雇用と研修による育成 |
| 3 | ＊送迎の過密するスケジュールへの対応 | ＊過密スケジュールへ受入の細部の調整 | ＊ドライバーの確保 |